

みなさんと議会を結ぶ……議会だより

の 議会ゆがわら

平成30年9月

No.107

湯河原町議会のホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>
湯河原町議会のE-mail gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

編集/発行 湯河原町議会
〒259-0392
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1
TEL 0465-63-2111(代) FAX 0465-63-9674

議会報告会を開催しました

7月4日(水)

湯河原町役場にて

十取の平段1号の審議内容について

湯河原町議会報告会

今後の主要事業について



6月
定例会

6/7~6/21

● 主な内容 ●

一般質問	2
委員会だより	6
審議と賛否	8
議会報告会	10

6月定例会

平成30年第3回湯河原町議会6月定例会は、6月7日から6月21日までの15日間(本会議開催3日間)にわたり開催されました。

この定例会では、条例、補正予算、人事など議案10件を審議しました。

一般質問

※一般質問とは…
議員が本会議で、議長の許可を得て、町政全般(一般事務、事業の執行状況、将来に対する方向性など)について、町長など執行機関の考え・方針を議員個人として質問することです。
質問内容は、あらかじめ議長に通告しなければなりません。

町議会HP
会議録



体の教育委員会や学校に対し、持続可能な運動部活動の在り方について検討し、速やかに改革に取り組むことが求められています。

Q 中学校における運動部活動の在り方について



松井一寿議員

本年3月に、スポーツ庁より運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインが公表され、各自治

①運動部活動数、活動生徒数、活動時間など

部活動の現状をお示しく
ださい。
②外部指導者の活用について、活用実績と今後の活用について伺います。
③スポーツ庁から示されたガイドラインについて、今後どのように対応されていくのか伺います。

A

①平成30年度における運動部活動数は14、登録生徒数は309名です。また、今年度から、原則週1日月曜日に文化部も含めて、部活動を行わない日を設けることといたしました。

②現在は計7名の方に部活動地域指導者として、ご協力をいただいております。今後とも生徒、学校そして地域の方々との連携を深めるためにも、引き続きご協力をいただきたいと願っております。
③今後、「湯河原町立学校に係る部活動の方針」

Q 学校施設における感染症対策について

学校生活では、インフルエンザなどの感染症の感染リスクが高く、感染拡大を未然に防ぐことは、円滑な学校教育を行う上で重要であると考えます。

を策定し、バランスのとれた学校生活への配慮等を含めた生徒の心身の健康管理、活動における安全対策等に取り組んでまいります。中学校におきましては、教育委員会が策定するこの方針に則り、学校教育目標等を踏まえ「学校の部活動に係る活動方針」を策定し、適切な部活動の推進を図ってまいります。

①近年の感染症による学級閉鎖や出席停止となった児童・生徒数をお示し
ください。

②現状の校内での対策はどのようになされているのでしょうか。

A

①平成29年度のインフルエンザを起因とする学級閉鎖回数は、小学校では16回、中学校ではございませんでした。出席停止となった児童・生徒数は、児童が延べ1,042名、生徒が延べ102名です。

②昇降口などへの消毒液の設置、手洗い、うがいの励行などを実施、インフルエンザ流行期には校内における縦割り授業等の中止、多人数による集会の中止、加湿器の設置などの対策を実施しています。今後につきましても、これら対策を適切、かつ、有効に実施するよう努めてまいります。

Q 投票所としての町民体育館活用について



室伏重孝議員

平成28年7月に執行された参議院議員選挙から、18歳選挙権が適用されましたが、各種選挙の投票率は年々下がっており、その一方で、期日前投票を行う有権者の数は増え続け、投票日が近付くにつれ、期日前投票所になっている役場庁舎には、多くの有権者が訪れ、駐車場から車が溢れることも見受けられます。駐車場も広く、高齢者や障がいをお持ちの方でも安心して訪れることができる町民体育館を役場の代わりに期日前投票所として活用する

当日の投票所としても活用できないのでしょうか。

A 町民体育館を期日前投票所として活用することにつきましても、期日前投票を行う際には、期日前投票システムと接続できるネットワーク環境が必要となりますが、町民体育館にはその接続環境が整っていないため、期日前投票所としての活用は難しいのではないかと考えております。平成31年度には町民体育館の隣に（仮称）防災コミュニティセンターが完成する予定となっております。こちらでは期日前投票所としての利用が可能であると考えております。今後、期日前投票を従来どおり役場で行うのか、別の施設で行うのか、投票者の意見を参考に、選挙管理委員会において検討してまいりたいと考えております。

また、町民体育館を投票日当日の投票所として活用することにつきましては、地域の実情等を踏まえ、選挙管理委員会において検討してまいりたいと考えております。

投票所におきましては、高齢者や障がいをお持ちの方でも安心して訪れることができるよう、投票しやすい環境を整え、さらなる投票率の向上に努めてまいりたいと考えております。

【その他の質問】

- ・人口減少問題に対する湯河原町の取り組みについて



Q IT技術を活用した移住・定住対策について



善本真人議員

平成27年に「湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン」を策定し、少子高齢化、人口減少対策に取り組んでいるところですが、IT技術を活用し、総合戦略プランに掲げる様々な施策を加速させるためにも、総務省が唱えるふるさとテレワークの推進が必要だと考えます。

①湯河原町での移住促進の状況をお聞かせください。

②今後の展開をお聞かせください。

③住環境の整備の現状はどのような状況になっているのかお聞かせください。

④テレワークの仕組みづくりと、移住者の定着支援を図る生活支援サービスについてお聞かせください。

A

①本町への「移住促進プログラム」を作成し、総務省のウェブサイトで「全国移住ナビ」及び町ホームページへ掲載するほか、動画サイト「ユーチューブ」で配信、年5回の移住セミナー、個別移住相談会を実施しました。

②移住・定住対策としては、本町への移住PRや創業支援セミナーを引き続き行います。

③マタニティ・サポート119事業の運用、結婚祝い金の支給、保育園での「0〜2歳児」受け入れ拡大など、若い世代が住みやすい環境作りに努めているところがございます。

④テレワークは、「在宅勤務」や「会社のサテラ

Q 本町における「民泊」の施策について

今年の質問
時点では、本町
として、条例制
定などの取り組
みは行わず、国・
県の動向を見て
検討したい旨の



石井 温議員

イトオフィス勤務」での勤務形態となることから、地方に住みながら都市部と同じような収入を得られるため、今後、仕事を持った若い世代の地方への移住が促進されるものと考えております。本町では、情報通信網のインフラは整っており、今後は企業へのリサーチ方法やその企業へのアプローチ方法及び空き家とサテライトオフィスのマッチング等について研究を進めてまいります。

ご答弁をいただきましたが、6月15日から、いよいよ民泊新法並びに県条例が施行され、近隣の箱根町ではそれに伴い、一部別荘地において、規制が行われるということですが、

本町も、観光立町として誘客活動を日頃より行っているところですが、民泊施策について、どのような構想で取り組まれているのか伺います。

① 昨年の質問以降の本町の進捗状況について。

② 民泊施設について、登録申請の現状は。

③ 今後起こり得る、無許可民泊施設も含めた苦情等の相談窓口の対応について。

④ 健全な民泊について、本町のスタンスは。

A

① 県知事と市町村長が意見交換を行う場である首長懇談会において、違法民泊のチェック体制の充

実強化について要望いたしました。

② 住宅宿泊事業法施行前の5月末現在では、「家主居住型」の届出が中心となりますが、小田原保健福祉事務所管内では、箱根町における2件のみとなっております。

③ 本町におきましては、観光課を窓口として、町民及び観光客等への相談対応及び情報提供を図っております。

④ 多様化する宿泊ニーズへの対応の観点から、国内外からの観光客の宿泊に対する需要に的確に対応し、来訪及び滞在を促進するための民泊サービスを否定するものではないと考えておりますが、無許可、無届けで営む違法民泊などにより、1度事件や事故が発生すると、「湯河原温泉」全体が、風評被害を受けることも否定できません。

また、違法民泊が蔓延

すること、本町の旅館、ホテルなどの宿泊施設の経営の圧迫や、ごみ、騒音、火災等の地域住民等とのトラブルも想定されますので、小田原保健福祉事務所と連携し、適切な対応を図ってまいりたいと考えております。

Q 子どもたちの健やかな成長と健康づくりのために、中学校給食の早期実施を



並木まり子議員

子育て中のお母さんや家族からも「中学校の給食を早く実施してほしい」と強い要望が寄せられており、町長の「自校方式で給食を実施したい」とするお考えを時期を含めてお伺いします。

憲法26条において「義務教育はこれを無償とする」とされていることもあり、全国で学校給食費の無料化や助成などで、保護者負担を軽減する制度が広がっています。中学校給食を実施していない学校は神奈川県や関西圏等生徒の多い学校に多く、全国的には84.1%の中学生が給食を食べています。

子どもの貧困化や朝食を食べずに学校へ行く生徒も増えている現状から、給食実施は町の重要課題と考え次の点についてお伺いします。

① 貧困問題と子どもたちの健康についてどのような考えですか。

② 少子化対策や若い人に移住してもらうための政策の一つとして給食実施をどのように考えていますか。

A

①子どもの貧困問題は傾注しなければならぬと捉え関係機関と研究・検討しておりますが、様々な関連分野があるため、こども支援課を中心に協議・研究してまいります。

②若い人が移住を考える時に中学校給食が優先順位の高い位置を占めているかはわかりかねます。今後学校施設を再編する場合、一つの可能性として検討しなければと思います。

がっており、再編も含めて検討するに当たりお伺いします。

①実態と今後の会館をどのように描いているのかお伺いします。

②民間活用は。

③地域住民の役割をどのように考えますか。

A

①利用状況は最も多い宮下会館では21%越え、最も少ない宮上会館では3%台です。規模を縮小しても全拠点維持してほしいとの要望等を伺っております。

②文化福祉会館に「PFI」（※P7参照）を活用した手法での建替えを検討していきたい。③議会に公の施設等整備調査特別委員会を設置、各区会や福祉会館運営協議会に参画いただいています。

Q 湯河原町地域福祉会館のあり方・再編について

この町の地域福祉会館は住民の福祉向上のため昭和40〜50年代に建設された公施設で9施設あります。老朽化や人口構成の変化、会館利用率も年々下

Q 持続可能な開発目標SDGsの取り組みについて



佐藤 恵議員

2015年の国連において持続可能な開発サミットが開催されSDGsが採択されました。SDGsはよりよき未来を実現するために世界各国が2030年までに、極度の貧困、不平等、不正義をなくし、地球環境や経済活動、人々の暮らしなど私たちの地球を守り、持続可能な開発に向けた様々な目標を達成するための行動計画で17の目標、169のターゲットを設定しております。SDGsは2030年までに「誰一人取り残さない世界を実現しよう」とする壮大なチャ

レンジであり人間の安全保障ともいうべき共通理念です。我々の社会が抱える様々な課題を同時に解決していくための国際社会が合意した物差しでもあります。

①SDGsについて本町はどう認識し今後どのように取り組んでいこうとされますか。

②子ども支援、多世代の居場所にもなる子ども食堂の設置についてお考えをお聞かせください。

A

①本町のSDGsに対する認識につきましては目標に掲げられている「すべての人びとに包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し福祉を促進すること」など地方公共団体の役割の基本である「住民の福祉の増進を図る」という点からも重要な目標であると認識しています。本町における今後の

取り組みにつきましては、平成30年度ではSDGsの目標への仕分けを現行の事務事業に対して行うほか、職員のSDGsへの取り組みに対する理解、目標を明確化し役場内での実施、推進体制の整備などを進め、国、県、近隣市町と連携しながら持続可能で多様性と包摂性のある社会づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

②子ども食堂の開設に向けては、運営主体を担っていただけの人材の確保とともに、衛生面や資金面など、様々な課題があることが考えられますので、今後は、先行して子ども食堂を支援している自治体の取り組み方法などについて、調査を進めてまいりたいと考えております。

委員会だより

総務文教・福祉
常任委員会

(6月18日開催)

○案件

●(仮称)防災コミュニケーションセンターの運営について(案)

現在建設中の本施設が完成した後の運営について、施設の名称、貸出す部屋の範囲、休館日及び開館時間、会議室使用料・冷暖房設備使用料等の案が示され、審議しました。

●湯河原町地域公共交通網形成計画の報告及び実証運行(案)について

住民意見交換会やパブリックコメントの結果を踏まえ、地域公共交通会議において策定した地域公共交通網形成計画及び本年10月から予定しているデマンド型乗り合いタ

クシーの実証運行(案)について説明を受け、審議しました。

○主な報告事項

●海外駐在員の任命について

海外の姉妹都市等との交流を深めるため、大韓民国忠州市には吉川由季子さん、イタリア共和国ティヴォリ市には山本恭子さんをそれぞれ現地海外駐在員として任命したこと

●湯河原町空き家対策について

平成29年度に実施した空き家現地調査及び空き家所有者へ向けた意向調査アンケートの結果について報告を受けました。

また、平成30年度中に策定予定の空き家対策推進計画の策定スケジュールについて併せて報告を受けました。

●国民健康保険事業について

平成29年度の国民健康

保険事業特別会計の決算見込等の報告と、平成30年度における国民健康保険料率について対前年比で一人当たり保険料を平均約15%引き下げて算定したこと

(7月18日開催)

○案件

●平成30年度湯河原町総合防災訓練実施計画概要(案)について

本年度は9月2日(日)に自主防災組織が各地区において実践的な訓練を実施すること及びその内容等について説明を受け、審議しました。

●新たな公共交通システムの実証運行について

前回(6月18日開催)の本常任委員会で示された実証運行(案)から住民意見交換会及び公共交通会議を経て変更となった点について説明を受け、審議しました。

●公共施設におけるブロック塀の調査結果について

6月18日に発生した大阪北部地震ではブロック塀が倒壊したことにより児童が犠牲となる痛ましい事故が起きました。これを受け、町では教育施設を含む公共施設のブロック塀を調査し、危険度の高いものから順次、撤去及び改修を行うことについて説明を受け、審議しました。

(7月18日開催)

○案件

●八雲・まさご保育園統合事業について

公募型プロポーザル方式により8社から技術提案を受け、審査の結果、大和リース株式会社横浜支店を最優秀提案者と決定し、今後詳細設計を経て新園舎の建設工事に着手する予定であること

の説明を受け、審議しました。

○主な報告事項

●三原市豪雨被害に係る湯河原町の対策について

親善都市である広島県三原市が平成30年7月豪雨により被災されたことにより、町では支援要請を受けた給水タンクや紙コップ、紙皿、割りばしなどの支援物資を搬送車計4台(職員8名)で運び入れ、また罹災証明等の事務支援のため、8月末までの予定で職員派遣を行うとの報告を受けました。

環境・観光産業
常任委員会

(6月13日開催)

○案件

●鍛冶屋ガードに関する意見交換会実施結果について

5月15日に開催した意見交換会が出された意見等について説明を受け、審議しました。委員会は、歩行者のための安全

対策は今後検討する必要
があるが、ガード拡幅事
業自体は中止すべきとす
る結論に達しました。

(7月9日開催)

○案件

●万葉公園・周辺地区ま
ちづくり事業について

温泉場エリア最大の観
光スポットである万葉公
園や隣接する湯河原観光
会館等の公共施設は老朽
化し、サービス機能も低
下しており、年々利用者
数が減少していることか
ら、parkierpfier
(※)制度を活用した整備
を進める計画の説明を受
け、審議しました。

※parkierpfierと
は・・・飲食店、売店等
の公募対象公園施設の設
置又は管理と、その周辺
の整備、改修等を一体的
に行う者を公募により選
定する都市公園における
民間資金を活用した新
たな整備・管理手法の
ことです。

金を活用した新たな整備・
管理手法のことです。

広域行政
特別委員会

(4月23日開催)

湯河原町と真鶴町で推
進している広域行政の事
業のうち、共有土地の管
理経費に係る負担割合で
は、一部の項目は両町の
共有土地持分割合により
負担することに改め、水
道事業に関する協定では、
湯河原町から真鶴町への
供給量(1,400m³/
日量)及び給水単価(税
別100円/m³)を維持
するが、今後は「水道広
域化専門部会」において
協議すること、湯河原町
水道施設(真鶴町への供
給に係る施設)の整備・
改修に係る費用負担を真
鶴町は湯河原町に対して
平成31年度から20年間で
支払うこと等について説
明を受け、審議しました。

(6月20日開催)

湯河原町と真鶴町で推
進している広域行政の事
業について、平成29年度
に実施した推進事業の経
過と平成30年度の事業計
画について説明を受け、
審議しました。

(7月9日開催)

熱海市と箱根町と湯河
原町で推進している広域
行政の事業について、平
成29年度に実施した推進
事業の経過と平成30年度
の事業計画について説明
を受け、審議しました。
委員からは例年開催して
いる観光展の開催場所や
抽選会の景品について見
直しを検討すべきとの意
見がありました。

町税等徴収対策
強化特別委員会

(7月18日開催)

平成29年度の町税等収

納状況、不納欠損の状況、
滞納繰越分の状況につい
て報告を受け、審議しま
した。

また、平成27年度から
導入されたコンビニ収納
とクレジット収納につい
て科目別の利用状況の報
告を受けました。

公の施設等整備
調査特別委員会

(6月13日開催)

●湯河原町地域福祉会館
について

前回(2月20日開催)
の本特別委員会での意見
を踏まえ、湯河原町福祉
会館運営協議会(3月30
日開催)において各区等
から出された要望を反映
させた「地域福祉会館
方針(案)」について説
明を受け、審議しました。

現在9つある会館のう
ち、宮上会館、中央区民
会館は移転・建替えを、
文化福祉会館はPF

(※)等の民間資金を活用
した建替えを行い、残り
の6会館は当面現状維持
とする方針(案)に同意
しました。また、現状維
持とする会館についても
耐震診断を行い、修繕に
て長寿命化を図っていく
こととなりますが、大規
模な雨漏りが発生してい
る城堀・川堀・宮下の3
会館については早急に防
水工事を施工することに
同意しました。

※PFとは・・・(プ
ライベート・ファイナン
ス・イニシアティブ)とは、
公共施設等の設計、建設、
維持管理及び運営に、民間
の資金とノウハウを活用し、
公共サービスの提供を民間
主導で行うことで、効率的
かつ効果的な公共サービス
の提供を図るという考え方
です。

補正予算が決まりました

【平成30年度】

【平成30年6月定例会】

会計名・補正額	概 要
一般会計（第1号） （1,607万6,000円の増額）	ドライブレコーダー設置促進事業費の増額 区会助成事業費の増額 町営住宅建物解体事業費の増額 道路新設改良事業費の増額 海浜公園テニスコート補修事業費の増額 （仮称）防災コミュニティセンター運営経費の減額 理科教育設備整備事業費の増額 など

一般会計補正予算の主な質疑

地域福祉会館運営経費（賃金を減額し委託料を増額する理由について）

地域福祉会館改修事業（委託料の内容について）

海浜公園テニスコート補修事業（工事の保証期間について）

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対を表しています。

(平成30年6月定例会)

議案番号	議 案 名	議 員 名											審議結果	採決日		
		並木まり子	松井一寿	石倉幸久	善本真人	佐藤 恵	室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	石井 温	土屋誠一	室伏重孝			原田 洋	松野 満
36	湯河原町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	6/8
37	湯河原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	6/8
38	湯河原町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	6/8
39	平成30年度湯河原町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	6/8
40	町道路線の認定について（町道吉浜219号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	6/21
41	動産の取得について（高規格救急自動車の購入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	6/21
42	動産の取得について（高規格救急自動車積載高度救命処置用資機材等の購入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	6/21
43	動産の取得について（消防ポンプ自動車の購入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	6/21
44	湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	6/21
45	湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	6/21

条例の改正

町HP
電子掲示場



●湯河原町税条例（一部改正）

地方税法等の一部改正に伴い、控除対象配偶者の定義及び固定資産税の課税標準の特例について改正するため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（一部改正）

国家戦略特別区域法、建築基準法施行令及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、避難用の施設又は設備に関する規定及び地域型保育事業の連携施設が行う役割について改正するため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（一部改正）

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準等の一部改正に伴い、放課後児童支援員に係る資格要件の拡大等をするため、条例の一部を改正しました。

動産の取得

●高規格救急自動車

現在配備されている高規格救急自動車について、年数の経過に伴い更新する必要があるため、「高規格救急自動車」、「高規格救急自動車積載高度救命処置用資機材等」の2件の動産の取得を議決しました。購入先・購入金額はそれぞれ、神奈川県自動車株式会社法人営業部 1,917万円と株式会社ワコー商事 1,348万3,800

円です。

●消防ポンプ自動車

消防団第3分団（宮下）に配備している消防ポンプ自動車の更新について、株式会社モリタ東京営業部から購入することを議決しました。（購入金額 1,998万円）

人事案件

◆湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について

高杉武たかすぎ たけしさんの任期が平成30年6月24日で満了となるため、引き続き高杉さんを固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意しました。任期は2021年6月24日までです。

◆湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について

ついて

柏木晃二かしわぎ こうじさんの任期が平成30年6月24日で満了となるため、引き続き柏木さんを固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意しました。任期は2021年6月24日までです。

合同常任委員会

7月28日（土）に襲来した台風12号により、本町も甚大な被害を受けました。町議会では急遽7月30日（月）に総務文教・福祉常任委員会と環境・観光産業常任委員会を合同開催し、町側から被害状況の詳細について説明を受けました。被害の内容は、

び海の家（全12軒）の全壊

③古浜東トイレ及び福浦漁協トイレの破損

④福浦漁港西側の町道福浦中通り線が約100mに渡り冠水

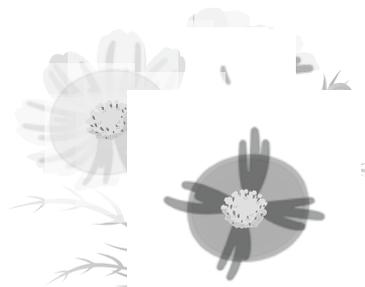
⑤福浦灯台横の防波堤部分の破損

⑥海辺公園ドッグラン受付小屋及び木製ベンチ部分の損壊

⑦幕山公園内の倒木

①小田原市江之浦付近での救急車両の高波による損壊

②海水浴場警備本部及び幕山公園内の倒木など海沿いを中心に被害を受けました。



議会報告会

テーマ：
「平成30年度予算の審議内容について」
「今後の主要事業について」

平成30年度 議会報告会
日時 平成30年7月4日(水)
午後7時から
会場 役場第2庁舎3階会議室
参加者 47人
出席議員 14人

議会報告会内容

今回の議会報告会は「平成30年度予算の審議内容について」と「今後の主要事業について」の二つのテーマについて、各議員から説明を行い、説明終了後、参加者の皆様からの質問や意見をお聴きし、アンケート調査を実施しました。

平成30年度予算の審議内容について

平成30年度予算の細部を審議するために設置された、予算審査特別委員会での審議内容をまとめた資料と予算ガイドブックを配布し、参加者の皆様に確認していただきました。

今後の主要事業について

今後進められる主要事業のうち、町民の皆様特に身近だと思われる5つの事業を取り上げ、5人の議員がこれまでの経過や今後の予定などについて報告しました。

主な質疑・意見の内容(要約)

- 1 ペーパーレス会議導入事業(説明 室伏寿美夫議員)
Q 会議の内容は、町民も端末を使って知ることができませんか。
A 先進地の事例では、セキュリティ面や情報漏えいを防ぐ意味からも直ちに町民の皆様が閲覧可能な状態となっているところは少ないと伺っています。ただし、システム機能が進化し、閲覧可能なものと非公開のものとの差別化できるようになるなどすれば、ご覧いただくことができるようになるかもしれません。
- 2 交通不便地域対策事業(説明 善本真人議員)
○質疑・意見等特になし
- 3 ドライブレコーダー設置促進事業(説明 松井一寿議員)
Q 設置業者の紹介はしていただけますか。
A 行政として公平性を期
- 4 美術館施設整備事業(説明 原田 洋議員)
Q カフェは入場料がかかりますか。
A カフェのみを利用する場合は、入場料はかかりません。
- 5 町民体育館施設整備事業(説明 石井 温議員)
Q 空調設備を利用する場合、有料ですか無料ですか。
A 町では有料として考えています。
- Q 電気代等、年間の維持口

すためにも特定の業者を紹介することはしておりません。
要望 町内業者を覧表で示すなどして、なるべく地元業者を使ってもらえるようにしたらどうか。
A 詳細な設計が終わっていないため、具体にお答えできません。

意見交換会内容

○観光施策について

・湯河原の今後の町おとしとしては、やはり、観光事業が重要だと思う。観光資源として自然も多く、たくさんの方の施設もある中で、それらを活かし、集客を高めるために、町民にも関心を高めてもらうことについて、町議会として熱を入れて取り組んでほしい。
・湯河原の観光資源の中で、一番の売りは、海だと思う。吉浜海岸はサーフィンをする人たちが1年を通して賑わっているが、釣り人を増やすために、海浜公園裏の護岸を有効活用できないか。また、遊覧船の発着場を設けるなどして、海を使った観光事業ができないか。

・町を挙げて「湯河原町は観光立町です」と唱えているのに、湯河原を訪れる観光客は年々右肩下がりに減っている。町や議会としても「このままでは大変だ」という気持ちの本当にありますか。

・議員の皆さんに「湯河原の良いところはありますか」と聞いても、「温泉」や「雄大な自然」と答える方はいても、「湯河原の歴史」について答える方がいないことが残念に思う。「城願寺」や「土肥実平」、「光風荘」などの歴史をもっと勉強してほしい。町民も良いところがたくさん有り過ぎて、それが「当たり前」になってしまっている。観光客にどのように情報発信していくかが大事だと思う。

・幕山梅林の梅の木は剪定の仕方を変えられないか。年々、梅の木が小さくなくなってしまい、見ごたえがなくなっている。

・土日のお客さんはそれ

なりにあるが、平日は少なすぎるので、何か対策は考えられないか。

○道の駅について

・川端公園に道の駅ができると聞いたが、進捗状況はどうなっているのか。

・平成30年度の予算で、2,000万円弱の予算が計上されているが、この内容はどのようなものか。

・道の駅を整備するのなら、規模は小さくとも二度三度と繰り返し訪れなくなるようなものを作ってほしい。

○鍛冶屋ガード拡幅について

・鍛冶屋ガード拡幅について、議会としてはどのような方向性で議論されているのか。あえてここで、事業自体を中止決定してしまうのではなく、将来に向けて継続審査のような形で残しておくことも必要ではないか。

・ガード拡幅が難しいのであれば、城堀から鍛冶屋を通り吉浜・川堀へ抜ける

農道の整備を急ぐなど、代替案を示すべきだと思う。せっかく湯河原駅裏の土地をJRから数年前に購入済であるのに、何も進展していないので、議会提案で案を示してほしい。

○地域公共交通について

・城堀地区もデマンドタクシーの運行区域に加えてもらえないか。

・利用する際の料金の確認。

・仮に宮上から乗ってきた車に、城堀の人が途中で乗ることはできますか。

○防災について

・(仮称)防災コミュニティセンターは当初の予定より工期が遅れているようだが、完成はいつ頃か。

・旧中学校跡地に新しい道路を造っているが、あの道路はJCHO新病院のためのものか。たんぼぼ作業所や今後建設される養護学校も使えるのか。また、新病院はいつ完成予定か。

・各地区の防災倉庫には、

以前町から支給された救急箱があるが、備蓄食料と同じように使用期限が切れた医薬品は町が更新するのか、各区会が更新するのか方針を示してほしい。当初町から支給されたもののため、処分して良いかどうか判断できないで困っている。

・門川区では、毎月の消防団の訓練の際に発電機の試運転を行っている。他の区でも参考にされてはいいかがか。

○その他

・若い人を呼ぶためには、やはり町内に産婦人科医が必要だと思う。

・町民体育館の地下に貸出用の机・椅子があるが、出し入れするのが大変なので、昇降機を設置するなど改善できないか。各区役員や老人会、各種団体の役員も高齢のため、あまりお金をかけずに改善できるのならば、要望したい。

・議会でも公の施設等整備調査特別委員会を設置



して議論を深めていると思うが、地域会館のことはかり聞かせてくる。役場庁舎の耐震化や建替えについては議論されているのか。庁舎の建替えは行政側からはなかなか言いづらいこともあると思うので、議会としてもっと積極的に議論を進めてほしい。

アンケート結果

1 湯河原の今後の方向性がわかって勉強になった。年に1回ではなく、半年に1回実施してほしい。

2 出席できて大変良かったと思います。

議員研修

議会ICT化（タブレット端末導入）研修のため、システム事業者を講師にお招きし、タブレットの操作研修を行いました。



タブレット操作研修(8月23日)



三原市災害見舞

親善都市である広島県三原市(昭和51年8月7日提携)が平成30年7月豪雨により被災したため、湯河原町議会として災害見舞金を募り、三原市へ届けました。

被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、皆さまの安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができません。(本会議の傍聴は、先着20名、委員会の傍聴は、先着6名です。)

【受付】開催日の午前9時から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

9月議会日程

- 9月11日(火) 本会議(一般質問等)
 - 12日(水) 本会議(条例・補正予算等)
 - 14日(金) 午前 環境・観光産業常任委員会
 - 19日(水) 午前 総務文教・福祉常任委員会
 - 21日(金) 午前 本会議(決算質疑等)
 - 26日(水) 午前 決算審査特別委員会(一般会計)
 - 27日(木) 午前 決算審査特別委員会(特別会計・企業会計)
 - 10月2日(火) 午前 本会議(委員長報告等)
- 【午前は10時、午後は1時の予定です。】

編集後記

今年の夏は猛暑日が多く大変な夏でした。そのような中、7月4日には例年行われている「議会報告会」を役場庁舎で開催しました。町民の皆様にも多数ご参加いただき、ありがとうございました。フリータイムの時間では貴重なご意見を賜り、今後の参考にさせていただきます。年一度の開催ですが、今年も有意義な意見交換ができ、感謝申し上げます。これからも議員一同、開かれた議会を目指し精進してまいります。

議会だより編集委員会

- 委員長 佐藤 恵
- 副委員長 石井 温
- 委員 並木まり子 松井 一寿
- 室伏寿美夫 原田 洋